



事例紹介

こうさん 広島県世羅町立 甲山小学校

朝・昼学習で、基礎基本の定着 ～授業時間外でeライブラリを効果的に活用～



甲山小学校では、朝学習や給食準備中の隙間時間、昼のスキルタイムにeライブラリのドリル・プリントで学習をしています。運用のポイントや実際の様子をご紹介します。

運用 活用が定着するまでの流れ

昼のスキルタイム



ドリル

【2016年10月から運用】

児童が主体的に取り組むようになり、ドリル学習の回数を増やしたいと声が挙がる。

給食前プリント学習



プリント

【2017年1月から運用】

1、2年生からプリント学習を始め、次々と参加する学年が増え、4月には全学年で実施。

朝学習

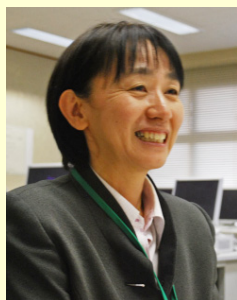


ドリル

【2017年4月から運用】

スキルタイムで効果があったことで、朝学習で各学年が週1回実施することになる。

情報担当 荒谷 みどり 先生のお話 ～運用のきっかけとポイント～



昼のスキルタイムは、以前よりプリントで運用していましたが、eライブラリが導入されたので使ってみようと思いました。そこで、先生方に「まずは、試しにeライブラリを1ヵ月だけ使ってみましょう」と提案したことが運用のきっかけでした。

eライブラリを使い始め、児童から「もっと勉強したい」という意欲的な声が挙がり、時間の管理にもメリハリがつかえました。担任の先生からも学習面・生活面が良くなったと大変好評で、「給食前プリント学習」「朝学習」でも運用することになりました。児童の反応を見た先生が手応えを感じ、段階的に利用場面を増やしていったことがスムーズに定着できたポイントです。

朝学習 朝学習でドリル活用



● すぐに取り組める環境づくり

この日の朝学習では、1、2年生が算数のドリルを行いました。荒谷先生は、朝学習が始まる前にeライブラリを起動しておき、児童がすぐに学習できるように工夫しています。学習時間がしっかり確保できているため、朝学習のふりかえりも行っています。

終わる2分前に「マイページ」で今日の頑張りを確認して「今日のふりかえり」から達成度に合ったスタンプを

選び、先生に送信します。イラストやメダルの変化が児童のモチベーションアップに繋がっているとのことです。

● 給食当番以外の児童がプリント学習！

プリント学習は、給食準備中の隙間時間に自由参加で実施され、この日は30名の児童が集まりました。先生の用意したeライブラリの「宿題プリント」を手に取り、学習を始めます。児童は、**たくさん問題を解いて次のプリントに進めることがモチベーションに繋がっている**とのこと。また、プリント学習中は教室に給食当番しかいないので、給食準備も早くなるといった嬉しい効果もありました。



◀ 先生が学年ごとに15枚ずつ「宿題プリント」を用意

● つまづいた問題は先生と高学年がフォロー

「プリントを採点していると、学年ごとに共通したつまずきの傾向が見えてきます」と荒谷先生。共通のつまずきは一斉指導、手が止まっている児童には個別指導をするなど、プリントを次々と進められるように指導方法の工夫をされていました。

また、2年生がつまづいている問題を、6年生が教えている姿も見られました。指示をしていないのに、高学年が自然と低学年に教えるようになったそうです。



▲ 学年を超えた児童同士の教え合い

● 児童の意欲を学習に繋げるための工夫



スキルタイムは、基礎学力を定着させ、学ぶ意欲を高めることをねらいに実施しています。この日は、計算の力を身につけるために算数のドリルを中心に学習をしました。

「早くドリルで勉強したい」という意欲的な児童がとても多く、一生懸命に掃除を終わらせて、5分前にはパソコン教室に集まりました。

先生は、**計算用紙を各机に配布し、児童が計算の途中式を書きながら問題に取り組めるようにしています。**

そうした工夫もあり、児童は図や式を書きながら着実に解答を導き出していました。

校長 池岡 妙子 先生のお話 ～eライブラリの良いところと今後の展望～



eライブラリは、**パソコンの画面に正誤判定が表示されるので、視覚的に学習内容の定着度を確認することができ、すぐに個別指導ができる**ところが良いと思います。また、プリントの準備が早くできるので、業務効率の改善に繋がり、児童の学習時間の確保もできます。eライブラリは各授業の中で大きな役割をもっています。

今後は、eライブラリの家庭学習サービスを運用したいと思っています。学校でeライブラリを使ってみて児童の反応も良かったため、家庭でも**eライブラリのドリルで主体的に学べる環境をつくりたい**と考えています。そのためには、保護者の協力も必要なため、家庭と連携をとりながら、**児童の学ぶ力を育てていきたい**と思います。

授業 6年 算数：2学期の学習範囲を復習



●自分の進度に合った主体的な学び

この日は、担任の先生が出張のため、2学期の学習範囲をドリルで復習しました。

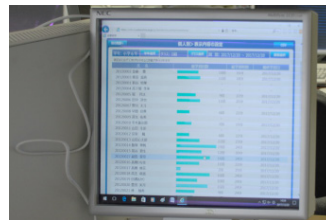
先生は、「1時間あるので、マイページをどこまで進められるかな?」「次のイラストはなんだろう?」と声をかけ、**児童の学習意欲をかき立て**ていました。

「児童によって**理解度が違うため、ドリルのレベルは自分で選ぶ**ようにさせています。」と荒谷先生。

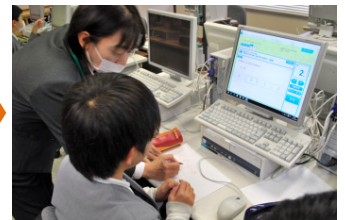
児童はわからない問題を自分で調べる習慣がしっかりとついでおり、「ヒント」や「調べる」から要点を確認しながら解き進めていました。

●学習履歴から個に応じた指導

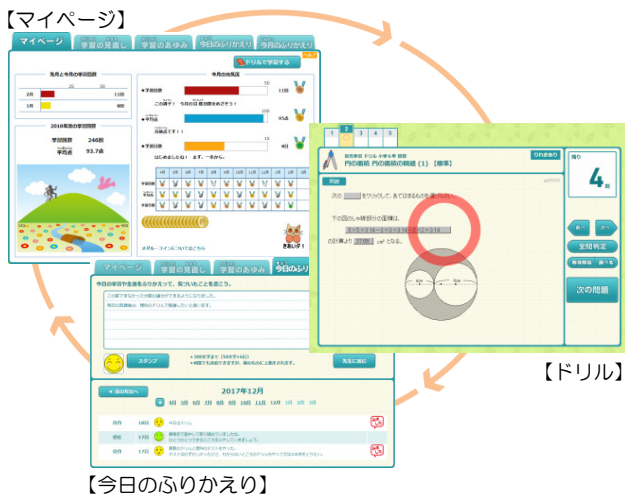
先生は、児童の学習履歴を見て進み具合を確認しています。**学習回数が伸びている児童を褒めたり、遅れがちな児童を個別にフォロー**したりしていました。このきめ細かな指導が児童の学習への意欲や質問できる安心感にも繋がっています。



▲ クラスの学習履歴



▲ 先生が個別指導



●マイページを使ったふりかえりの習慣

授業の最後は、算数で学習したことをふりかえります。**eライブラリで学習するときは、必ず「マイページ」でふりかえり**をしており、**授業のサイクルに組み込んで**います。児童は、コメントの入力にも慣れており、次に学習したいことをしっかり入力していました。

休憩時には、マイページを友達と見せ合う姿が多く見られ、学習回数やメダルの数を競い合いながら、次の学習へのやる気が湧き立っていました。

POINT!

算数の計算問題を学習するとき



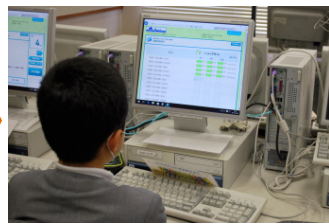
- 計算問題はノートや計算用紙に、図や式を書きながら答えを導き出す。
 - ▶ **パソコン教室に筆記用具とノートを持っていくと良い**
- つまずいた問題は、「解答解説」や「調べる」から公式や計算の仕方などのポイントを確認して取り組む。
 - ▶ **教科書を見返さなくてもドリルの画面から要点を確認できる**

授業 6年 国語：「言葉のきまり」を学習

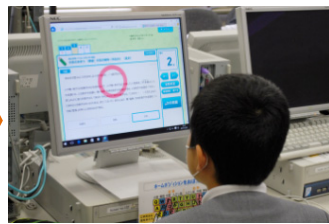
● 授業の流れ



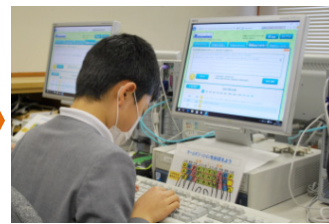
Yahoo!からタイピングサイトを検索し、ローマ字入力の練習をする。



前回の授業にeライブラリで学習した教材を確認して、今日はどの教材を学習するかを決める。



ドリルに取り組む。問題文をよく読み、わからないところは、「ヒント」や「調べる」を使って自力解決を目指す。



最後の2分は、今日学習したことをふりかえる。



● 中学校を見据えたタイピング練習

「中学校の英語学習を見据え、ローマ字の定着は欠かせません。また、中学生になるとパソコンを使った発表資料の作成が増えます。ローマ字入力に戸惑うことなく、発表資料を作ることに専念できるようにさせたい」と荒谷先生。授業は、インターネットのタイピングサイトを利用した文字の入力練習から始まりました。児童はホームポジションを意識しながら、真剣に練習をしていました。

● 問題レベルのステップアップで、自信がつく

ドリルの時間では、「言葉のきまり」の教材を基本レベルの問題から順に取り組めます。間違えた問題は、解答解説から「なぜ間違えたか」を確認し、「リトライ」で再チャレンジ。

満点を取って次のレベルの教材に進めることが児童の自信に繋がっています。



POINT!

パソコン教室で授業をするときの工夫



パソコン教室



ストレッチの様子

- 学習スペースとパソコン教室が一体となっており、2つのクラスが授業できるようになっています。学習スペースは前の扉から、パソコン教室は後ろの扉から入室するようにしています。
 - ▶ 入室の混雑を緩和し、スムーズに着席できる
- パソコンの授業は、児童はとても集中して取り組むため、ストレッチの時間を取ります。
 - ▶ 児童の健康面を配慮
- 毎授業でパソコン教室を利用しているため、パソコンの電源は常につけています。
 - ▶ 学習時間の確保
- 学習した後は、eライブラリのログアウトすることを習慣化しています。
 - ▶ 次に使う人が、使いやすいように配慮